

事業番号	02 08 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課
			実施期間	S45頃～	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

人口減少が著しい中山間地域等における地域活力の維持・確保を図るため、地域を担う人材の確保・育成、多様な主体による地域活動の活性化、地域の拠点・基盤づくりに対する支援等に取り組んできたが、住民の主体的な地域づくりを持続可能なものにするためには、直接的な支援にとどまらず、それぞれの支援策が有機的に機能し、地域づくりのプロセスに一貫して寄り添う支援が求められている。また、地域に今ある資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用し、複合的に価値を生み出す取組を推進する必要がある。

2 事業目的

地域住民が、自らの地域の価値を新たな観点で捉え直し、地域内外の多様な主体と交流・連携しながら、主体的に地域づくりに取り組み、自治の力を発揮しながら持続可能な暮らしを営めるよう、支援する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域づくり活動に寄り添う人材育成及び地域づくりへの支援**
- ・【拡】地域に寄り添い対話の場づくりを行う人材を育成する講座（まちむら寄り添いファシリテーター養成講座）の中で、講座修了生や受講生が地域課題解決をモデル的に実践し、その過程を情報発信することにより、活動の普及促進を図る
 - HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信
 - 修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施
 - 修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催
 - ・【拡】特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施
- ②地域おこし協力隊 受入・活躍支援**
- ・【拡】協力隊員の資質向上のため、協力隊員の活動ステージやテーマに応じた研修の回数を増やし開催
 - ・【新】担当者の資質向上のため、市町村担当職員向けにミスマッチ防止のための制度設計研修を開催
 - ・【拡】10地域振興局毎、協力隊サポートネットワーク会議を開催し、中間支援組織が会議をサポート
 - ・【拡】R4年度に実施した伴走支援モデル事業や、新たに伴走支援を受ける市町村の成果の横展開を中間支援組織と共に実施
 - ・【拡】市町村協力隊員の合同募集説明会を開催し、参加する市町村に対しては事前に募集設計勉強会を実施
- ③信州自然留学（山村留学） 受入支援・魅力発信**
- ・団体間の運営ノウハウの共有を図るため、意見交換を実施
 - ・受入団体の活動の充実を図るため、先進事例地への視察や調査・研究を実施
 - ・【新】山村留学合同説明会における集客力強化を図るため、WEB広告を活用した情報発信を実施
 - ・受入団体の体制や特色など山村留学に係る情報を分かりやすく発信するため、ポータルサイトを運用
- ④輝く農山村地域の創造に取り組む市町村支援**
- ・【新】輝く農山村地域を創造するため、地域ぐるみの意欲的な活動で成果を挙げている地域を厳選し、最先端エリアを目指す市町村を支援
 - 伴走支援を実施する市町村の選定に係る調査（ヒアリング）、相談、アドバイス等
 - 地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	まちむら寄り添いファシリテーター養成講座修了生のうち活動した者の割合	%	45.0	48.0	↑	51.0	↑	54.0		修了生へのフォローアップの拡充を行うことで活動割合を高め、毎年度同程度の伸び率を見込む。	
②	市町村地域おこし協力隊ステップアップ研修の満足度	%	84.2	94.4	↑	集計中 (R5.3月頃 確定)	—	90.0		過去2年の平均の満足度を維持することを目標とする。	
③	信州自然留学（山村留学）の受入団体数	団体	14	16	↑	集計中 (R5.4月頃 確定)	—	20		R4年度の目標17団体に加え、新規に3団体の増加を目指し20団体を目標とする。	
④	輝く農山村事業の取組に提案をした市町村数	市町村	—	—	—	—	—	5		総合5か年計画期間中に5団体が輝く農山村地域の創造に取り組むことを目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の隊員数	人	2019 (R1)	422	2020 (R2)	416	2021 (R3)	428	2027 (R9)	580
3-1③	地域活力の維持・発展	地域おこし協力隊員の定着率	%	2019 (R1)	77.4	2020 (R2)	85.0	2021 (R3)	78.3	2027 (R9)	85.0
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	信州自然留学（山村留学）者数（4月1日時点）	人	2020 (R2)	148	2021 (R3)	159	2022 (R4)	172	2028 (R10)	340
3-1③	地域活力の維持・発展	地域運営組織数	団体	2019 (R1)	214	2020 (R2)	229	2021 (R3)	242	2027 (R9)	289
3-1③	地域活力の維持・発展	特定地域づくり事業協同組合がある市町村数	市町村	2020 (R2)	0	2021 (R3)	2	2022 (R4)	2	2027 (R9)	12

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		31,779		31,779	27,970	7.0
	(要求)		22,697		22,697	18,888	
R4年度	0	21,134	8,258	29,392	19,689		6.0
R3年度	2,896,223	20,459	4,002	2,920,684	23,961	2,842,083	6.0
予算要求からの 主な変更点	輝く農山村地域創造推進事業について、地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援を実施することとし、経費を増額						

事業番号	02 08 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	地域活性化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	地域における対話の場づくり促進事業	2,452 千円	3,500 千円	(予算案) 3,500 (要求) 3,500 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	対話の場づくり人材の活動に対するフォロー研修等の開催	委託	【拡】まちむら寄り添いファシリテーター養成講座の中で、講座修了生や受講生による地域課題解決をモデル的に実施 ・HP等での修了生の活動プロセスや事例等の情報発信 ・修了生が活動を継続するためのフォローアップを実施 ・修了生と各種コーディネーター等との交流会を開催 新規修了生20名		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業	6,082 千円	5,777 千円	(予算案) 6,453 (要求) 6,453 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特別豪雪地帯住宅除雪支援事業補助金	補助金	【拡】特別豪雪地帯市町村による高齢者等対象世帯への除雪を行う者（住宅除雪支援員）の派遣に要する経費に対する補助を実施（補助時間等の拡充） 補助（9市町村）、延べ派遣回数（7,247回）（R3実績）		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	地域づくり活動推進事業	7,235 千円	7,267 千円	(予算案) 7,453 (要求) 7,453 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域づくりネットワーク長野県協議会負担金	負担金	地域づくりネットワーク長野県協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 地域づくりの自主的・主体的な活動のすそ野を広げるため、地域づくり団体への情報提供、地域づくり団体相互の交流の促進等を実施 県内地域づくり団体等を対象としたフォーラムの開催1回（やまびこフォーラム）		
2	（一財）地域活性化センター運営負担金	負担金	地域活性化のための諸活動を支援するセンターに対し、負担金を支出 【団体概要】 活力あふれ個性豊かな地域社会を実現するため、まちづくり、地域産業おこし、地域社会活性化の諸活動への支援等、地域振興の推進に寄与する各種事業を実施 「地域づくり」発刊（毎月）、地方創生実践塾の開催（10回）、地方創生セミナーの開催（23回）		
3	（一社）全国過疎地域連盟負担金	負担金	全国過疎地域連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国の過疎地域が連携して過疎対策事業の充実強化を図るため、過疎対策に係る調査・研究や政府予算・施策への要望活動、自治体間の情報交換等を実施 国等への要望活動の実施（実施回数は連盟の事業計画等による）		
4	全国山村振興連盟負担金	負担金	全国山村振興連盟に対し、負担金を支出 【団体概要】 全国における山村地域振興のため、関係者相互の緊密な連携・提携を図り、山村振興政策に係る政府予算・施策への要望活動や実務者研修会等を開催 国等への要望活動の実施（実施回数は連盟の事業計画等による）		
5	全国積雪寒冷地帯振興協議会負担金	負担金	全国積雪寒冷地帯振興協議会に対し、負担金を支出 【団体概要】 積雪寒冷地帯の道府県、市町村が緊密に連携し、大規模豪雪災害や関係基本法制度の見直しに対する要望活動、会員相互及び関係機関との情報交換等を実施 国等への要望活動の実施（実施回数は協議会の事業計画等による）		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	地域おこし協力隊 受入・活躍支援事業	4,590 千円	4,590 千円	(予算案) 3,987 (要求) 3,987 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	地域おこし協力隊研修	直接 委託	【拡】協力隊員の資質向上のため、初任者研修・スキルアップ研修を開催(回数等の増) 【新】担当者の資質向上のため、市町村担当職員研修を開催 初任者研修(2回)、スキルアップ研修(3回)、市町村担当職員研修(1回)を開催	
2	地域おこし協力隊サポートネットワーク	直接 委託	【拡】10地域振興局毎に運営する協力隊のサポートネットワークにおいて、協力隊員の受入体制の質の向上を図るため、サポートネットワーク会議を開催。中間支援組織が企画サポートを行う 意見交換会、局企画会議等(2回/局)を開催	
3	地域おこし協力隊受入伴走支援	直接 委託	【拡】市町村の受入体制設計に対する取組意欲の醸成および中間支援組織による支援体制の自走化を図るため、R4年度に実施した伴走支援モデル事業や、新たに伴走支援を受ける市町村の状況・成果の横展開を中間支援組織と共に実施 【拡】募集案件の質の向上のため、市町村協力隊員の合同募集説明会を開催し、参加する市町村に対しては事前に募集設計勉強会を実施 合同募集説明会・募集設計勉強会(1回)、成果報告会(1回)を開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	信州自然留学(山村留学) 受入支援・魅力発信事業	0 千円	0 千円	(予算案) 1,304 (要求) 1,304 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	信州自然留学(山村留学) 推進協議会の運営	直接	・団体間の運営ノウハウの共有を図るため、意見交換を実施 ・受入団体の活動の充実を図るため、先進事例地への視察や調査・研究を実施 協議会(2回)の開催	
2	信州自然留学(山村留学)の魅力発信	委託	・【新】山村留学合同説明会における集客力強化を図るため、WEB広告を活用した情報発信を実施 ・受入団体の体制や特色など山村留学に係る情報をわかりやすく発信するため、ポータルサイトを運用 説明会(2回)の開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	輝く農山村地域創造推進事業費	0 千円	0 千円	(予算案) 9,082 (要求) 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	地域づくり支援組織による調査、伴走支援等	委託	・【新】伴走支援を実施する市町村の選定に係る調査(ヒアリング)、相談、アドバイス等 ・【新】地域づくり支援組織による市町村の取組への伴走支援を実施 支援市町村選定に係る調査(県内・複数市町村)、伴走支援(3市町村程度)	